



第224号

編集・発行
〒292-0451 ☎35-2488
君津市末吉128
小櫃公民館

小櫃の人口	
男	2,329人
女	2,314人
計	4,643人
世帯数	2,041世帯
〈令和4年5月末現在〉	

新サークル「うたおう♪みんな」誕生

6月に小櫃公民館に新しいサークルが誕生しました。
引き続き会員を募集しています。
みんなで楽しく歌うことが好きな方の参加をお待ちしています。



【趣味教養講座からスタート】

昨年度の小櫃公民館事業「みんなであう♪みんな」(みんなうた)に参加された皆さんがこの度サークルを立ち上げました。「みんなうた」は、歌うことを通して、みんなで一つのものをつくりあげる楽しさを体験できる場を作りたいとの思いから企画したものです。「歌は地域を元気にする」を合言葉に楽しく童謡や唱歌を斉唱しました。

【うたおう♪みんなへ】

サークルの名称は参加者のみなさんと相談をして決めました。「みんなであう♪」や「みんなうた」をそのままサークル名に使用するという案もありました。しかし、「うたおう♪」という誘いかけの言葉を強調したいとの意見を受けて、「う

【活動の様子】

6月2日に第1回目の活動が行われ、新規の方も含めて15人が参加しました。講師のピアノの演奏に合わせて「故郷」や「夏の思い出」など全部で10曲を斉唱しました。これからも定期的に公民館にきれいな歌声が響くことになりま

す。今後の活動が楽しみです。コロナ禍で公民館での活動に制限がある中にも関わらず、新しいサークルが誕生したことはうれしきニュースです。「うたおう♪みんな」は引き続き参加者を募集しています。みんなで楽しく歌うことに興味がある方はぜひ一緒に歌いませんか！お待ちしております。



○うたおう♪みんなで
日時 毎月第一、第三木曜日
午後2時から3時30分まで
場所 小櫃公民館 講堂
内容 発声練習、童謡や唱歌の斉唱(曲は参加者のリクエストで決定)
会費 一か月 1000円
参加希望者は小櫃公民館までお問い合わせください。

現状の課題に向き合い、前進する公民館活動をめざして！

人と人の繋がりがこそ地域づくりの源



君津市小櫃公民館館長 田村 正

令和4年度もスタートとなり、日常生活はウィズコロナに伴い感染の対応を取りながら、事業活動を展開していく状況が続いております。ここ3年間で中止や変更など多く

の活動が地域の皆さんの「人との繋がりが」を弱めており、公民館事業でも廃止を余儀なくされたサークルや団体もありました。オンライン講座などICTの活用もありますが、対面とは違い「人との繋がりが」の確保には、十分な対応とは言えない現状でもあります。しかしながら、新しい動きとして、気軽にちよっとした集まりの場をつくりたいとのことで「うたおう♪みんな」「おびつスマイルサロンい

ね」などの活動も開始しているところでもあります。また、今年度は新しく「小櫃まるごと博物館」構想事業(※詳細は紙面下欄のとおり)もスタートする準備を進めているところでありますので楽しみにして下さい。そして、今年度の活動の柱として、①サークル活動の堅持(※再構築)・充実、②各種事業の充実として、地域課題に取り組み学び、能力開発的な学び、人々を繋げる講座・

集会・イベントなど地域に根ざした文化活動の充実(小櫃再発見)、また、ICTを活用した研修や講座の充実、③図書室の充実と活用拡大の取り組み、④現状施設の修繕(安全と安心の確保)そして施設再整備に向けての準備などの方針に基づいて進めて参りたいと考えております。



令和4年度 小櫃公民館 主な事業計画

事業名	実施時期	対象
青少年教育事業		
子ども会等関係者会議	5月31日	子ども会役員等
子どもひろば	夏休み・冬休み	小学生
おびつ子たんけん隊	9月～10月	小学生
おびつ子チャレンジ	11月～12月	小学生
青少年相談員連携事業	1月	小中学生
子どもキャンプ代替事業	7月23日	小学生
20歳のつどい	令和5年1月8日	※
コミュニティ活性化事業		
館報「おびつだより」の編集・発行	6月～3月 年4回発行	—
第48回小櫃地区文化祭	10月29日、30日	地域住民
小櫃里山コンサート	12月	市民
おびつ地域ミニシアター	随時	地域住民
課題解決学習推進事業		
小櫃まるごと博物館構想事業	通年	地域住民
地域学習講座「小櫃学」	7～8月	市民
趣味教養講座「モルック」	7月～10月	地域住民
おびつスマイルサロンいね	6月～3月 第3金曜	地域住民
小櫃地区防災講座	6月19日	地域住民
子育てチャンネル「のぼっこ」	4回程度	子育て中の保護者
子育てサロン「おびつな」	7月～1月	乳幼児とその保護者
地域医療講演会	9月頃	地域住民
ほほえみ学級	6月～3月	60歳以上の地域住民
高齢者学級小櫃保育園交流事業	6月～2月	60歳以上の地域住民
「デジタル活用講座」(デジ活)	年3回	地域住民

※今年度に20歳を迎える方(平成14年4月2日～平成15年4月1日生まれ)

機関車(C12-287)の写真をいただきました
小櫃公民館の屋外に展示されている機関車の現役時代の写真を、鹿児島県にお住まいの森永幸平さんからご提供いただきました。森永さんが、「C12-287」をインターネットで検索したところ、小櫃公民館で展示されていることがわかったことがきっかけです。1970年頃に鹿児島機関区で撮影したものです。50年以上の時を経て、遠く九州の地から写真が届いたことに不思議な縁を感じます。

地域全体を博物館に！ 小櫃まるごと博物館構想

令和4年度から小櫃地域にある史跡や名所、生活文化、自然など様々な地域資源を映像に記録し活用する事業「小櫃まるごと博物館」をスタートします。
この事業では、例えば公民館の主催事業の地域学習講座「小櫃学」で扱った史跡の資料などをもとにオンライン上で動画配信し、史跡付近の案内看板から映像にアクセスできる仕組みをつくっていきま

▼活動内容Ⅱ構想推進員の定例会議(月1回程度)において、記録収集についての学習、地域情報に関する情報交換、地域資源の記録活動など。
▼申し込み方法Ⅱ詳しくは、小櫃公民館までお問い合わせください。 ☎35-2488

公民館事業への参加は初めての方でもお気軽に
今まで公民館の事業に参加された経験のある方はもちろん、初めての方のお申込みもお待ちしております。一緒に公民館で活動してくれる方を広く募集中です。お一人でもご家族やご友人と一緒にお気軽にご参加ください。
各事業の詳細は、実施時期が近づきましたら公民館内での掲示や自治会回覧、ホームページ等で案内いたします。

期待しています。
地域ごとに行われている祭礼や行事など、撮影にご協力いただける方(団体の代表や関係者等)は小櫃公民館までご連絡をお願いします。
※台風被害やコロナ禍の影響を受ける前の動画や写真提供でも構いません。
構想推進員を募集します
地域資源に関する情報交換をしながら、記録や調査を進めていく「小櫃まるごと博物館」構想事業の推進役となります。地域のことを学びたい、小櫃の価値を広めたいという方や映像記録や動画編集に興味のある方はぜひご協力ください。

小櫃小学校 校長 木下 和弘



①現在は君津市南子安に住んでいますが、生まれは九州福岡県です。②自然が豊かなところは言うまでもありませんが、地域の方々が学校教育に対してとにかく協力的なことが印象に残っています。私自身が平成25年から5年間、小櫃中学校でお世話になっていた時、様々な場面で助けていただきました。③若いころ、野球をやっていたので、野球観戦が大好きです。少年野球からプロ野球まで時間があればスポーツ広場やマリスタジアム等に足を運びます。④小櫃小学校の学校教育目標は「笑顔いっぱい、元気いっぱい、やる気いっぱい、小櫃っ子」です。小櫃地区の自然や文化、伝統を生かし、家庭や地域との連携を深めながら、「さわやかあいさつができる子、目標に向かって挑戦する子、進んで学び、友だちと高めあう子」の育成を目指します。現在、感染症予防対策で教育活動に様々な制限がありますが、その時の状況に応じた実現方法を模索しながら進めていきたいと思っております。地域の皆様のご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。



この春、小櫃地区の公的機関に新しく着任された方にインタビューをして、これからの抱負などを伺いました

- ①出身はどちらですか？
②小櫃の印象、好きなところを教えてください。
③趣味や好きなことは何ですか？
④今後の抱負を教えてください。

上総小櫃中学校 教頭 飯田 昌利



①実家は、富津市の大貫です。現在は君津市空師三丁目に住んでいます。②教諭時代は卓球部の顧問を長くやらせていただいております、当時は小櫃中学校の生徒にとっても強い選手がたくさんおり、とても驚いたことを覚えております。私は平成17年から4年間亀山中学校に勤務し、平成24年から6年間久留里中学校に勤務しておりました。そして今回小櫃の地に建つ上総小櫃中学校に勤務させていただきとても光栄に感じております。小櫃地区はとても美しい地域だと感じております。③今趣味にしていることは、休みの日にしかできませんが、家の周辺をウォーキングすることです。④上総小櫃中学校に慣れ、学区の方々とも協力していきたいと思っております。

小櫃保育園 園長 尾崎真由美



①君津市です。清和地区出身です。②10年前にも小櫃保育園で勤務をしていました。その頃からとても温かく受け入れていただき、たくさんの思い出ができた場所です。安心できる場所です。③旅行ですが、今は行けないので旅番組をよく見えています。家にいるときは主にアメリカの海外ドラマを録画していますので、それをゆっくり見ることも楽しみです。④感染対策を続けながら、保育園での行事が少しでもできるように工夫を行い、子どもたちにとって楽しい場、一人ひとりが成長できる場になるように職員一同取り組んでいきたいです。地域の方の協力を得ながら、交流を行い皆で子どもたちの成長を見守っていきたく思います。よろしくお願いいたします。

小櫃行政センター 所長 石川 歩美



①出身はここ小櫃です。小櫃保育園、小櫃小学校、小櫃中学校に通いました。②緑が輝く、自然豊かな風景が好きです。いい意味で昔から変わらないところが、懐かしくほっとできます。③若いころはテニスなどしていましたが、今はお家でのんびりすることが至福の喜びです。④一昨年末で小櫃公民館でお世話になりましたが、また故郷の小櫃に戻ってまいりました。行政センターは公民館の中に併設されておりますので、訪れる方の懐かしい顔ぶれがちらほら見られ、うれしくなります。行政センターは、小さな窓口ですが、地域の皆さんにとって一番身近な市役所の窓口です。各種手続き、申請受付はもちろん、小さな困りごとなど市役所に行くのはちょっと敷居が高いと感じる方もお気軽にお越しください。地域に寄り添った行政センターを目指し、少しでも皆さんのお役に立てるよう職員一同、精一杯努めてまいります。よろしくお願いいたします。

小櫃公民館 副館長 榎本 倫代



①君津市の小櫃地区出身です。②房総半島の中部に位置する小櫃の里は、古来から有名な穀倉地帯として繁栄した、小櫃川を中心とする豊かで平坦広大な耕地は、史実と史蹟等、文化的遺産のとても多い所です。多くの年輪を有する尊い郷土を築いた先人を思うと、胸が高鳴ります。③日々の生活に追われていますが、部屋に家の周りがある花材をアレンジして、自由に生けることで楽しんでいます。④生まれ育った小櫃で、公民館の仕事に携わる事ができ、大変嬉しく思います。しかし生涯学習の拠点として、多種多様な学習の実践・支援を行う公民館事業の幅の広さに、戸惑いを感じております。『明るく、親しみやすい、感動を共有できる小櫃公民館』を地域の皆様と共に、目指してまいりたいと思っております。ご支援とご指導の程よろしくお願い申し上げます。

令和4年度

各種団体役員・委員紹介

- (小櫃地区自治会連絡協議会) 会長 山本 保美 善和 副会長 西原 一 田中 幸夫 計 西原 二 鈴木 富男 賀恵 淵 座間 文義 戸崎 一 林 富美夫 戸崎 二 長谷川 敏彦 戸崎 三 松崎 正男 岩出 鎌田 徹 寺 沢 小山 達彦 青 柳 松本 浩 箕 輪 栗原 徹 上新田 山下 豊 俵 田 藤田 一哉 会長 末 吉 高橋 正治 三 田 齊藤 正 長谷川 田邊 克巳 副会長 小櫃台 波多野文義 (教育委員) 教育委員 小倉 洋一 俵 田 (社会教育委員) 委員 岡部佐和子 西原 一 (公民館運営審議会委員) 副委員長 市原 朝夫 寺 沢 委員 水田 安政 末 吉 委員 丸山由起子 俵 田 委員 三橋 一文 戸崎 一 (小櫃の元気な子どもを育てる会) 会長 安藤 昭雄 俵 田 (シニアクラブ小櫃支部) 会長 飯田 朝夫 箕 輪 副会長 手島 定雄 長谷川 女性委員会会長 御簾納絹江 山 本 (日赤奉仕団小櫃分団) 分団長 塩田美和子 戸崎 二 副分団長 渡辺 文子 三 田 (小櫃保育園保護者会) 会長 御簾納勇希 長谷川 (小櫃小学校PTA) 会長 鈴木 隆明 長谷川 副会長 飯田 照夫 俵 田 箕 輪 (小櫃振興会) 会長 柳井 範佳 末 吉 副会長 長谷川 継夫 戸崎 二 (小櫃地区社会福祉協議会) 会長 長谷川 勝之 賀恵 淵 副会長 齊藤 勝幸 箕 輪 (交通安全協会小櫃支部) 支部長 時田 秋彦 山 本 (防犯協会小櫃支部) 支部長 柳井 範佳 末 吉 副支部長 粕谷喜久夫 三 田 副支部長 山田 高志 長谷川 (小櫃体育協会) 会長 三橋 一文 戸崎 一

職員紹介 転出お世話になりました 副館長 館林 喜昭 (君津富津広域下水道組合総務課へ) 公民館主事 柴田 学 (教育部生涯学習文化課(兼)生涯学習交流センター(兼)君津中央公民館へ) 【転入】よろしくお願ひします 副館長 榎本 倫代 (建設部道路整備課から) 副主査 會澤 直也 (小糸公民館から) 今号がお手元に届く頃、コロナ禍はどうなっているでしょうか。願わくは終息してきますこと、夏に向けて息苦しさの増すマスクをする必要が無くなっていますようにと念じます。そういえば、今年は薫風に泳ぐ鯉のぼりを見かけませんでした。お天気が定まらず雨降りの日が多かったからか、少子化あるいは不景気、それとも揚げ下ろしの手間を惜しむ家庭事情か、などと考えると、申し訳ない。そんな中、毎年のように仲間と登っていた富士山に、三年ぶりに行く計画を立てました。実行できるでしょうか。会いたい人に会いたい時に会える、行きたい場所に誰はかかることなく行ける、そんなあたり前の日常を熱望する今です。(ひろ)



飯田 昌利 田村館長 會澤 直也 佐々木 榎本副館長 田丸